

・里海学舎構想に関する作業の進捗状況等について

志摩渚の交番運営委員会
志摩市里海推進室

取り組み状況と成果等

(1) 日本財団「渚の交番プロジェクト」について

平成 28 年 4 月の事業採択を目標に、事業主体となる一般社団法人伊勢志摩里海学舎と志摩市が連携して、日本財団と事務的な調整を行ってきたが、継続審議となったことから、その後も事業内容等について事務的な調整を行い、平成 28 年 9 月の理事会で審議・採択されることを目標に調整中。

建設予定地の間崎島の住民にとって使い勝手の良い施設設計とするため、間崎島の関係団体、住民と意見交換を継続して実施中。施設設計についてはプロポーザル方式により設計業者を選定し、関係者の意見を取り入れた設計を行うことに変更。

(2) 平成 27 年度里海学舎構築業務について

志摩市ならではの魅力のある学びのプログラムを準備することが必要であることから、志摩市の事業として下記の教材や学びのプログラム開発などを行った。

学校の授業等でアコヤガイを解剖し、真珠を取り出す教材の開発に取り組み、実際に学校の授業で活用したところ、教材として高い評価を得た。また、教員が独自に授業を実施するためのガイドブックの作成などが求められた。

真珠養殖や加工の工程に係る人が講師となった体験講座を実施し、ホテル関係者から宿泊者向けのプログラムとして注目された。

アコヤガイの貝殻を使用した工芸品作りの体験を行い、貝殻を削る工程でホコリが多く出るなど、体験プログラム化する場合の注意点などが洗い出された。里海を案内するガイドを養成するために、市内でさまざまな体験事業やボランティアガイドを実施している人に集まってもらい、ガイドに必要な知識や育成方法に関する検討を行った。

高校生を対象とした臨海実習のモデルツアーを実施し、シーカヤックや磯観察など、フィールドでしか体験できないプログラムが高く評価された。また、臨海実習を引率する教員を対象としたツアーの実施などを検討することとなった。

今後の取組み

- (1) 日本財団「渚の交番プロジェクト」を活用して里海学舎のガイド養成や事業を実施するため、下記のスケジュールで作業を進めることを予定。

平成 2 8 年 9 月

- ・日本財団の理事会で審議される予定。
- ・採択後、志摩渚の交番プロジェクトの開始。

ソフト事業：里海ガイドや語り部の養成・関係事業者間のネットワークを構築

ハード事業：「志摩渚の交番」の施設整備に向けて、プロポーザル方式による設計業者の選定と設計業務を発注

現在申請準備中のため、詳細は次回の協議会で報告予定。

- (2) 平成 2 8 年度里海学舎構築業務の実施

平成 2 7 年度の事業成果を踏まえ、教材の確立やガイド養成を支援するための業務を実施。

アコヤガイを使用した解剖教材の授業用ガイドブックの作製

講師を派遣しなくても、学校の教員が円滑に授業を行うことができるようにするためのガイドブック

アコヤガイを定額で一定量購入することにより、真珠養殖業の経営安定にも寄与したい。

臨海実習などを引率する教員を対象としたモデルツアーの実施。

8 月 1 日・2 日の二日間で実施予定。志摩市で実際にさまざまな体験をしてもらって臨海実習の誘引に繋がることを期待。

里海ガイド養成に必要なテキストの作成

実際に養成プログラムを実施して、参加者からの意見を聞きながらプログラムやテキストの内容を検証し、テキストを作成する作業を進めます。

9 月と 1 2 月に養成プログラムを実施予定。